

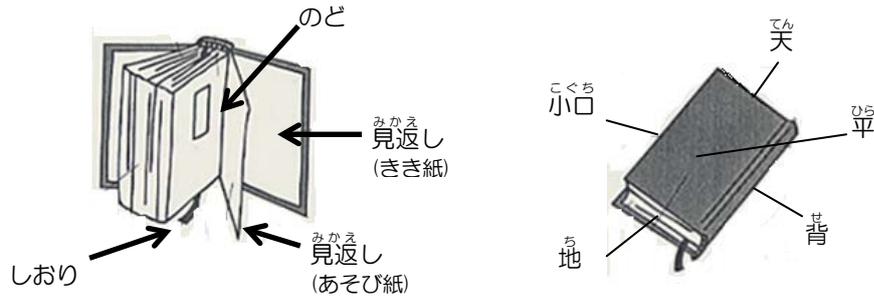
本のあつかい方と修理 しゅうり

名古屋市図書館

2017年6月

1 本は、どんなふうに行っているの？

本のいろいろな部分の名まえを知ろう。 てん天、ち地、せ背、のどのど、こぐち小口など



2 本がこわれないようにするには、どうしたらいいの？

ひさく秘策その1 → ほきょう読む前に補強する。
図書館では、たくさんの人が読んでも、こわれにくくするために、
本の背や、本全体に、とうめい透明のフィルムをはっています。

ひさく秘策その2 → つぎの10か条で、本のあつかいの達人になる。

<p>① きれいな手で 読もう</p>	<p>② 食べたり、のんだり しながら読まない。</p>	<p>③ たなからだす ときは、背を持つ。</p>	<p>④ 本をひらいたま ま、ふせない。</p>
<p>⑤ しおりのヒモは、 本の中に入れる。</p>	<p>⑥ しおりがわりに、えん ぴつなどを入れない。</p>	<p>⑦ 水の近くに置か ない。雨にも注意。</p>	<p>⑧ 図書館の本 に書きこみはし ない。</p>
<p>⑨ 本だなに、つめこみすぎない。 本だだに、つめこみすぎると...</p>	<p>⑩ ブックエンドで本を たおれないようにする。</p>	<p>おまけ パットのそばに、 本を置いたままにしない。</p>	

3 こわれた本をなおしてみよう。

用意するもの：ブックカバー用透明フィルム 修理用テープ
修理用ボンド 平筆 はさみ 定規 竹ぐしなど

極意その1 → ボンドをつけすぎない。
一度つけたものは、とれないよ。

極意その2 → セロテープは使わない。
時間がたつと、色が変わって、はがれてしまうよ。

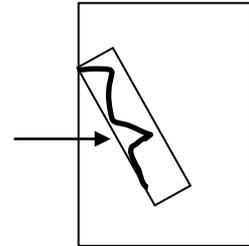
● らくがきをはっけん！

えんぴつのはらき、ていねいに消しゴムで消す。
決して強くこすらないでね。

● やぶれたページをはっけん！

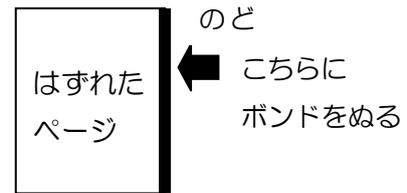
修理用のテープをはる。
片面にはったら、裏からもはる。
決してセロテープは使わないでね。

修理用テープ
を表と裏の
両面からはる。



● ページがはずれた本をはっけん！

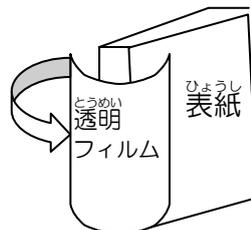
はずれたページの「のど」の部分に修理用ボンドを筆でぬる。
ずれないように、ページを本のもとの位置にさしこむ。
輪ゴムやクリップで本をとめて、ボンドが
かわくまで置いておく。
ページをさかさまにつけないでね。



● 背のはがれている本をはっけん！

背の上のほうのはがれているときは、はがれたところに、修理用ボンドをぬり、はりつける。

背が足りなくなったときは、あつ紙で背をつくってはり、その上から透明のフィルムや、製本テープをはる。



本は大切にしてくださいね！

